学校番号	１０８

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	1	“ELEMENT English Communication Ⅰ Revised” 学習用 CD Listening Essentials1.5

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能全てを使い行われます。自ら積極的に英語を使うという姿勢が大切です。

・英語はスポーツのように、実際に口や耳、頭や心を使うことで上達します。たくさん間違って、たくさん学んで、たくさんのことを使えるようになりましょう。練習もしないで、うまくなるはずがありません。それだけではなく、家庭での学習習慣をきちんとつけましょう。

”Enjoy Making Mistakes.”（失敗を楽しめ！）”No Rain, No Rainbow.”（雨が降って､虹が出る！）

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・英語のネイティブ・スピーカーの先生と、自分のことなど、なじみのある話題について英語で短いやりとりができる。 ・学校や身の回りの話題に関する自分の考えを英語で言うことができる。	**コ英Ⅰ** 定期考査 ワークシート **英語表現Ⅰ** 授業内活動	・自分の意見や感想を整理し、文章構成を意識して書くことができる。 ・英語の手紙や電子メールなどで、ある程度まとまった内容を、それほど辞書を引かなくても書くことができる。	**コ英Ⅰ** 定期考査 ワークシート **英語表現Ⅰ** 定期考査	・教科書のリスニング活動で聞く英語を、１文ずつであれば内容を理解できる。 ・英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。	**コ英Ⅰ** リスニング **英語表現Ⅰ** 授業内活動	・教科書の本文の、１つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 ・外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、内容の重要な点を理解しながら、そのつながりを理解できる。	**コ英Ⅰ** 定期考査 ワークシート **英語表現Ⅰ** 定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (14 時間)	かい枝さんが英語落語を始めた経緯と、高校生にむけたメッセージについて紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にし、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・かい枝さんの英語落語に関する内容を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。	・かい枝さんの英語落語に関する内容を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について話すことができる。	・授業時間を利用して短いスピーチをグループで行わせ、その様子を観察する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・かい枝さんの英語落語に関する内容を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・かい枝さんの英語落語に関する内容を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・5 文型・to 不定詞と動名詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。	・5 文型・to 不定詞と動名詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (14 時間)	人間に育てられたライオンのクリスチャンの生活について紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にし、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・人間に育てられたライオンのクリスチャンについての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、ふだんの食事や食生活のあり方について話し、書く。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、ふだんの食事や食生活のあり方について伝え合う。	・人間に育てられたライオンのクリスチャンについての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、ふだんの食事や食生活のあり方について書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・人間に育てられたライオンのクリスチャンについての説明を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・人間に育てられたライオンのクリスチャンについての説明を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形・受動態・分詞の限定用法の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。	・現在完了形・受動態・分詞の限定用法の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (14 時間)	先人たちや世界の科学者たちが予見した未来と現実世界の比較結果について紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・未来予測に関する文章を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、スポーツに関する話題について話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、スポーツに関する話題について伝え合う。	・未来予測に関する文章を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、スポーツに関する話題について話すことができる。	・授業時間を利用して短いスピーチをグループで行わせ、その様子を観察する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・未来予測に関する文章を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・未来予測に関する文章を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVO(疑問詞節・if 節)・関係代名詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。	・ SVO(疑問詞節・if 節)・関係代名詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (14 時間)	山口さん自身の二度の被爆経験と、その経験をどう伝えたのかに関して紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・山口さんの被爆経験についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、身近な環境問題や環境保護の必要性について話し、書く。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、環境問題について伝え合う。	・山口さんの被爆経験ついての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、身近な環境問題や環境保護の必要性について話し、書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・山口さんの被爆経験についての内容を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・山口さんの被爆経験についての内容を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVC(分詞)・知覚動詞・使役動詞・原型不定詞・過去完了形の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。 ・生態系や環境問題について知る。	・ SVC(分詞)・知覚動詞・使役動詞・原型不定詞・過去完了形の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (14 時間)	うま味と呼ばれる味覚成分と、その効能について紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・うま味に関する物語を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、社会問題について話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、様々な社会問題について伝え合う。	・うま味に関する物語を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、社会問題について話すことができる。	・授業時間を利用して短いスピーチをグループで行わせ、その様子を観察する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・うま味に関する物語を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・うま味に関する物語を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞＋受動態・関係代名詞 what の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。 ・様々な社会問題について知る。	・助動詞＋受動態・関係代名詞 wha の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (14 時間)	プレイポンプ計画と、なぜその計画が失敗したのかについての一連の流れを紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・プレイポンプ計画の物語を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、音楽について話し、書く。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、音楽について伝え合う。	・プレイポンプ計画の物語を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、音楽について話し、書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・プレイポンプ計画の物語についての内容を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・プレイポンプ計画の物語についての内容を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・関係代名詞の非限定用法・形式主語の it の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。	・関係代名詞の非限定用法・形式主語の it の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (14 時間)	生物模倣と呼ばれる科学技術の発展に伴う自然界への変化について紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・バイオミメティクスに関する説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことを解説する文章を書く。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・読んだことを解説する文章を書く。	・バイオミメティクスに関する説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことを解説する文章を書くことができる。	・授業時間を利用して短いスピーチをグループで行わせ、その様子を観察する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・バイオミメティクスに関する説明を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・バイオミメティクスに関する説明を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了進行形・関係副詞・形式目的語の it の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。	・現在完了進行形・関係副詞・形式目的語の it の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (14 時間)	東京オリンピック招致の際に行われたプレゼンテーションから。「よいプレゼンテーションとは何か」を紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・東京五輪招致プレゼンテーションに関する説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、教育のあり方について話し、書く。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、教育のあり方について伝え合う。	・東京五輪招致プレゼンテーションに関する説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、教育のあり方について書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

		「外国語理解の能力」			
		・東京五輪招致プレゼンテーションに関する説明についての内容を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・東京五輪招致プレゼンテーションに関する説明についての内容を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。 ・世界の教育問題について知る。	・仮定法の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (14 時間)	白血病を患った少年の最後の願いと夢について紹介する。。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ボプシーに関する物語を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことを解説する文章を書く。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・読んだことを解説する文章を書く。	・ボプシーに関する物語を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことを解説する文章を書くことができる。	・授業時間を利用して短いスピーチをグループで行わせ、その様子を観察する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・ボプシーに関する物語を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・ボプシーに関する物語を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法表現・seem to do の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。	・仮定法表現・seem to do の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (14 時間)	南アフリカの黒人と白人が親密になるためにマンデラがラグビーを使用した経緯を紹介する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペア・ワークの様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・マンデラとラグビーワールドカップについての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことを解説する文章を書く。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・読んだことを解説する文章を書く。	・マンデラとラグビーワールドカッについての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことを解説する文章を書く。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

		「外国語理解の能力」			
		・マンデラとラグビーワールドカッについての内容を音声／文章から理解する。	・ディクテーションで音声から内容をつかむ。 ・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・マンデラとラグビーワールドカッについての内容を音声／文章から理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去完了進行形・進行形の受動態・分詞構文の使い方を理解する。	・本文中で用いられている語句の意味や文法の用法を確認する。	・過去完了進行形・進行形の受動態・分詞構文の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。